

# 市民エキストラ通信

発行：和歌山市 観光課 発行日：平成 20年 3月 31日

〒640-8511 和歌山市七番丁23番地

TEL：073-435-1234 FAX：073-435-1263

E-mail kanko@city.wakayama.lg.jp

http://www.hall.city.wakayama.wakayama.jp/fc/index.htm

**VOL. 5**



去る2月8日、和歌山城内で、テレビ時代劇「水戸黄門」のロケが行われました。ロケには、里見浩太朗さん演じる水戸のご老公も訪れ、城内を散歩する人が思わず振り返ることも。

放送予定は、4月21日(月)午後8時から毎日放送系です。

残念ながら、今回は和歌山城としてではなく、浜松城という設定ですが、和歌山城をよく知っているみなさんなら、きつとどのシーンが和歌山城内で撮影されたのか、わかるはず?!是非、ご覧下さい。

水戸のご老公

和歌山城へ!



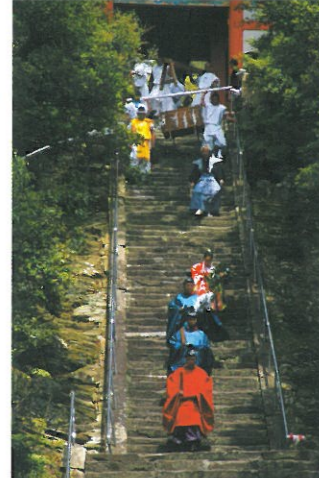
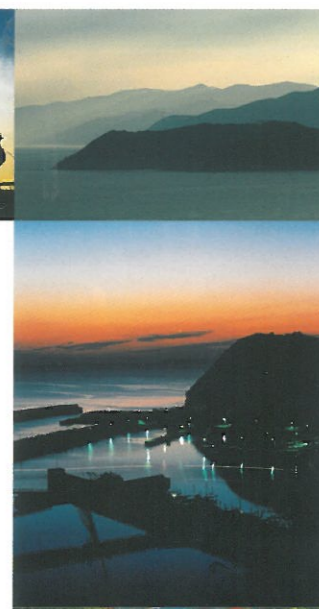
## ロケにいい場所知りませんか?

いわゆる観光名所と言われるような場所でもなく、当たり前な風景なんだけど、なんだかすごくお気に入りの場所。そんな場所を知りませんか?  
ロケには、意外とそんな場所がいっぱいあります

**貴**方のおすすめスポットを写真にしてお送りください。

- 和歌山市のフィルムコミッション事業のHPへ投稿!  
http://www.hall.city.wakayama.wakayama.jp/fc/index.htm  
⇒「写真 作品の募集」というところをクリック!
- 和歌山市観光課へ直接郵送!  
⇒〒640-8511 和歌山市七番丁23  
和歌山市役所 観光課「FC担当」まで

※なお、応募頂いた写真は返却しません。また、和歌山市は、応募頂いた作品について、市の広告・宣伝等を目的とした媒体に掲載するなど、自由に使用させていただけるものとします。



和歌山市百景  
フォトコンクール'07  
入選作品の中から

- 左下から時計回りに:
- 撮影場所：和歌山公園 (貴志 泰治さん)
  - 撮影場所：伊太祈曽駅近く (奥 きぬ糸さん)
  - 撮影場所：あしべ橋近く (関口 紀彦さん)
  - 撮影場所：和歌浦港 (水田 正治さん)
  - 撮影場所：加太 (柴田 正さん)
  - 撮影場所：雑賀崎 (出合 記子さん)
  - 撮影場所：紀州東照宮 (萬羽 昭夫さん)

## シネマ 映画 水戸黄門

### 精神障害者と地域の共生を描く物語 遂に完成!



武田 賢二  
(たけだ けんじ)

1972年生まれ。2000年に社会福祉法人一麦会(麦の郷)職員となり現在、精神障害者生活訓練施設「麦の芽ホーム」にてソーシャルワーカーとして勤務。また本映画の実行委員会事務局員として、上映活動の企画や準備を担当。

この映画はきょうされん(旧 共同作業所全国連絡会)の30周年記念映画としてジェームス三木脚本のもと製作されたものです。精神障害者と地域の共生をテーマにすることから和歌山市の作業所がモデルに選ばれました。そして全編、和歌山でのオールロケーションにて撮影されました。

私はこの映画に携わって俳優や監督をはじめ撮影スタッフが本当にいいものをつくっていくために妥協を許さない姿勢に心を打たれました。撮影中、ひとつのカットを納得のいくものが撮れるまで、何度も何度も取り直しをおこない撮影は深夜にまでおよぶことがありました。そうしたひとつひとつのカットが合わさりながら90分の物語が完成しました。

2月9日には和歌山、2月16日には東京にて試写会がおこなわれ両会場ともに多くの観客が集まりました。そしてこの映画は精神障害者という重いテーマでありながら恋愛あり笑いあり涙ありでエンターテインメント性を併せ持ち「もっとも精神障害者の社会参加を促進させる意義深いもの」と大絶賛を受けました。この映画は3月29日~4月11日までジストシネマ10和歌山にて上映いたします。みなさまぜひご鑑賞ください。



▲県庁本庁舎内での撮影

全国一、八〇〇カ所以上の共同作業所、授産施設、グループホームなどで結成されている「きょうざれん」。その三十周年記念映画「ふるさとをください」が昨年十月から十一月にかけて、和歌山市内ほか県内各地で撮影が行われ、現在和歌山市内で上映されています。十年ごとに製作されてきた記念映画の今回の舞台に選ばれたのは、和歌山市岩橋にある「麦の郷」。

和歌山オールロケの映画が完成

和歌山市内で上映中!

精神障害をテーマとした今回の作品のモデルとして「麦の郷」が注目されたのは、在院日数全国ワースト1といわれた和歌山での「麦の郷」の活動にあったといえます。撮影には、当事者の人たちも実際に出演され、そのうち、仲間の結婚式のお祝いシーンに出演した「くろしお作業所」の和中嘉美さんは、こんな感想を残しています。『映画がどんな内容だったのかも忘れてしまっているけれど、出演できて感激したのを覚えています。麦の郷を主にして作ってくれたことは、嬉しいですね。日本中にこんな私たちがいることを知ってもらいたい、皆さんも小さい箱から飛び出し前進あるのみです。この映画で自分たちをみんなに知ってもらえたら嬉しいですね。』



3月29日(土)~4月11日(金)まで  
ジストシネマ 10 和歌山にて  
上映中!

『映画がどんな内容だったのかも忘れてしまっているけれど、出演できて感激したのを覚えています。麦の郷を主にして作ってくれたことは、嬉しいですね。日本中にこんな私たちがいることを知ってもらいたい、皆さんも小さい箱から飛び出し前進あるのみです。この映画で自分たちをみんなに知ってもらえたら嬉しいですね。』



▲試写会での監督・出演者の舞台挨拶

今回の映画には、四面で紹介している実行委員会事務局の武田さん始め、和歌山オールロケを成し遂げるために、またさまざまな障害を持つ人への理解を深めてもらうために、本当に多くの人のご苦労と熱い思いが込められています。

和歌山市内での撮影は、「麦の郷」のほか和歌山県庁本庁舎内やJR和歌山駅前、紀伊風土記の丘などで行われました。この映画にも市民エキストラの方や、急遽お手伝いいただいた「慶風高校」の生徒のみなさんにも大勢出演していただきました。本当にありがとうございました。

大人気!  
ロケ地 和歌山城



▲太陽が雲に隠れるのを待って...

1面で紹介した『水戸黄門』のロケを始め、今年のテレビ東京系列新春ワイド時代劇『徳川風雲録』のロケなど、和歌山城は時代劇のロケ地としてよく利用されています。2面では、『徳川風雲録』で「雨ふらし」のシーンを撮影した様子をご紹介します。

「時代劇」の苦勞と  
「晴れの日に雨のロケ」の苦勞

「時代劇」の苦勞  
時代劇と現代劇の大きな違いと言えば、衣装や小道具などはもちろんのこと、背景に現代風のものが入ってしまったりは避けられないという難しさがあります。たとえば、ページ右下の撮影。岡口門付近ですが、ふだん当たり前に見慣れている点字ブロックなどが、時代的に合わないものとして、一時的に砂を撒いて紛れさせています。ほかにも、ちよっとした看板や電線な



▲人も機材もぬれないように...

ど、油断をすると写り込んでしまうので、最新の注意を払わなければなりません。『晴れの日に雨のロケ』の苦勞  
今回のような「雨ふらし」のシーンでは、タンク車に水を入れて消防用のホースのようなもので上向きに放水し、雨が降っているように見せます。大変なのは、太陽の光です。ドラマの中では雨が降っているはずなのに、地面が日なたになっ

▼現代風のを砂で隠す



和歌山城以外にも、去年は、ポルトヨーロッパや加太などでも映画、ドラマ、プロモーションビデオなどの撮影が行われ、市民エキストラの方にご参加いただきました。参加いただいたみなさん、ありがとうございました。